



No.199

2024/12/20

東日本ヤマハOB会  
パソコン同好会

## 本日のテーマ

- 1 インターネットに騙されない
- 2 LINE (他人の写真アルバムを誤表示した問題)
- 3 TEMU(中国発の“激安”通販サイト)
- 4 Amazonにもある、容量偽装SSD
- 5 詐欺メールについて

インターネットに騙されない

2.LINE 他人の写真アルバムを表示した問題等々ありますので注意して使ってください。

インターネットに騙されない

2-2.読売新聞オンライン記事【LINEアルバム誤表示、13万5000人に影響か...システム更新でプログラムに不備】

<https://www.yomiuri.co.jp/national/20241205-OYT1T50192/>

トップ &gt; 社会

## LINEアルバム誤表示、13万5000人に影響か...システム更新でプログラムに不備

2024/12/05 19:35

スクラップに追加



LINEのロゴ

LINEヤフーは5日、無料通信アプリ「LINE」の画像を保存する「アルバム機能」で他人の画像が表示された問題で、保存した画像が他の利用者に表示された人は国内外で13万5000人に上るとの推計を発表した。国内では7万人としている。

また、自分のアルバムの一覧画面に他人の画像が表示された人は国内外で11万4000人、国内では5万5000人としている。不具合が生じた人数を特定する記録は残っておらず、いずれも推定値だという。

不具合は11月28～30日に発生。アルバムにある複数の画像をまとめて表示する「サムネイル画像」を作成するシステムの更新でプログラムに不備があり、処理が集中した際に、サーバー上の画像が他の利用者の画像と混ざって表示されてしまったという。

インターネットに騙されない

3. TEMU (激安の通販サイト)

怪しい激安通販サイトTEMUの闇が深すぎる！

<https://youtu.be/HN9mJEkGgYI?si=Ln1grc1IP8qeT5h->

インターネットに騙されない

3. TEMU (激安の通販サイト)

超怪しい中華ネットショップ「TEMU」の闇を暴く  
【粗悪品 & 激安】

<https://www.youtube.com/watch?v=d2o2wG-61VI>

## インターネットに騙されない

3-2. TEMUを展開する会社の別アプリを「ダウンロードすると、個人情報すべて抜き出し」される。(アメリカでの例)



インターネットに騙されない

3-3. 健康被害続出 TEMUの闇  
サービス開始は2022年9月全世界50ヶ国展  
開。激安展開で急成長（月間使用者が  
Amazonと同程度）。

インターネットに騙されない

3-4.商品の2割から発癌性物質など危険な成分が検出、その濃度は基準値の数千倍。

インターネットに騙されない

3-5. TEMUで買い物をするクレジットカードが不正使用される可能性。アメリカ議会が取り上げ。

## インターネットに騙されない

3-6. なぜこんなに安いのか→値段を下げるために品質を問わない／中には詐欺商品もある／安いものには理由がある。

インターネットに騙されない

4. Amazonで販売中の30TB超高速SSD！  
絶対に手を出してはいけない理由とは？

[https://youtu.be/t54Ahf8H-  
vw?si=oHhYzK7VpinpwPV5](https://youtu.be/t54Ahf8H-vw?si=oHhYzK7VpinpwPV5)

## インターネットに騙されない

4-2. Amazon30TB超高速SSD！¥12,125  
実際は25GBの安いSDカードが入っていて、  
ソフト的に30TBを偽装している。(評価欄の  
「良いというコメント」等も偽装)

# インターネットに騙されない

4-3. Amazon不正記事 産経新聞

<https://www.sankei.com/article/20241210-PDJQFXJF2JMG5BXOTOZW32YRZE/>

く情報を集め、実態解明につなげてほしい。

アマゾンには、小売業者が商品を販売する場として「マーケットプレイス」というサイトを運営している。同じ商品ページに一つだけ、商品が利用者の目につきやすい位置に表示される。この位置を獲得する条件の一つに、アマゾンは「競争力のある価格での出品」と設定しているとされる。

# インターネットに騙されない

## 4-4. Amazon不正記事 産経新聞

出品者にとって、通販サイトは多くの消費者に商品を届けるために欠かせない販路だ。サイトでの掲載位置によって商品の売れ行きが左右されるだけに、価格引き下げの要求があれば拒みにくい。

通販サイトを運営する強い立場を利用して、出品者に価格引き下げを強要したとすれば、独禁法が禁じる優越的地位の乱用や拘束条件付き取引に当たる可能性がある。要求に応じずに、目立つ位置から外された出品者もいたという。看過できないのは、公取委によるアマゾンへの立ち入り検査が3回目であることだ。



# インターネットに騙されない

## 4-5. Amazon不正記事 産経新聞

過去には取り扱う商品を値引き販売し、値引き分の一部を納入業者に負担させたとして、約1400社に総額約20億円を返還するなどの改善策をまとめたこともある。法令違反が疑われる行為を繰り返す企業姿勢は見過ごすことはできない。

公取委は米国本社「アマゾン・コム」が関与した可能性があるとみて調べる方針だ。アマゾンの商慣行は米欧でも問題となっている。公取委は海外当局とも連携してネット通販市場の健全な発展につなげてほしい。

# インターネットに騙されない

【おまけ：詐欺メールについて】最近のメールシステムはWeb用に作られた「HTML」という仕組みを流用して、目に見える画面の裏側に「実際に誘導する先のURL」を持っています。例えばメールの【支払いの詳細】をクリックすると「TEPCO」のサイトへ飛ぶように見せて、実際は別の「詐欺サイト」へ誘導されます。そこで「ユーザーIDやパスワード&クレジットカード番号」等を入力させられ、相手はこの情報を使ったり他へ売ったりします。

## インターネットに騙されない

【対策】気になる場合は「メールの指定箇所のクリック」をせず、相手の正しいメールアドレスやサイトのURLを調べて連絡しましょう。

# インターネットに騙されない

郵便料金は一通当たり85円以上かかりますが、メールはコストが大幅に安いので、『100人に送って1件位の人が引掛かれば良い』という感じで送信している模様で、大体、支払い×切期限がメール着日の2～3日後だったりします(毎回その都度更新)。

送信用メールアドレスリストはどこから(ダークウェブ等?)か買っている様です。(私の場合メール、@plala宛が多いです)。

相手メールの送信元は専用ソフトで「偽装」していて確認はNGです。

最近、税務署／えきねっと(JR予約)／Amazon／ヤマト運輸／ETCカード／クレジットカード各社を騙ったメールが届きます。

# インターネットに騙されない

- えきねっと JR（期限切れログオン）
- エクスプレス予約（期限切れログオン）
- Amazon（期限切れログオン）
- 各種クレジット会社（期限切れログオン）
- 各種銀行（期限切れログオン）
- ETC（期限切れログオン）
- ヤマト運輸（再配達指定）
- 東電／東京ガス（支払い督促）

インターネットに騙されない

5. 今回使用した『Simplenote』という便利なアプリ。( &OneDrive)

## インターネットに騙されない

5-2. スマホ用とパソコン用があり、双方向でリンクできます。つまり入力を「パソコン」で行って同じ文書を「スマホで修正する」等ができます。Simplenoteのクラウドドライブにデータを保存しスマホとパソコンを同期する。

# 今月のよろずQ&Aコーナー